

2021年02月02日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【世の中の変化】

世の中が、大きく変化している、と感じている。

それは、新型コロナウイルスの感染拡大が、大きな原因のひとつなのだろう。

今月の7日(2月7日)が期限であった緊急事態宣言が、来月の7日(3月7日)に延長されることになった。

本日(2月2日)、正式に決定が発表される見通しだ。

+++++

新型コロナウイルス問題は、その発生から、約1年が経過した。

この1年で、人々の生活様式が、大きく変わった。

飲食店に行く機会は大きく減少したし、旅行に行くことも少なくなった。

もちろん、「GOTOキャンペーン」が実施されていた期間は、観光地や宿泊施設も、大いに潤ったのだろうが、「GOTOキャンペーン」が中止になって以降は、観光地や宿泊施設は、閑古鳥が鳴く状況の様子だ。

多くの人々が、飲食店に行かなくなったので、高級食材が余剰となり、価格が値崩れしていることも、報道されている。

その一方で、スーパーマーケットなど、生活必需品を取り扱うところは、業績を伸ばしている。

+++++

個人的な感想だが、新型コロナウイルス問題は、生活に必要なもの(設備・施設・物品などを含む)と、無くてもよいものを、明瞭にしたのではないかと感じている。

新型コロナウイルス問題で、苦しんでいる業界や人々がいるので、そういったものを、必要ない、と切り捨てる気持ちは全く無い。

ただ、世の中が、変化して、明らかにしたことを、客観的に感じているのだ。

+++++

新型コロナウイルスに関しては、ワクチンの開発が進み、その効果も、徐々に、明らかになっている。

ワクチンが、世界中に行き渡る場合には、新型コロナウイルス問題は下火になり、最終的には、終息するのだろう。

しかし、それには、まだまだ時間がかかる様子だ。

少なくとも、1年以上の時間が必要であり、貧しい国々に行き渡るには、それ以上の時間が必要とされている。

+++++

様々な意味で時間がかかり、変化した状態がつづくことを考慮すると、今ある状態に、適宜、合わせる必要がある、と感じる。

つまり、変化に対応する必要がある、ということ。

俗に言う「フィンチの嘴（くちばし）」というやつだ。

換言すれば、新型コロナウイルス問題が終息すれば、また、元の状態に戻る可能性もあるが、場合によっては、新型コロナウイルス問題が終息した後でも、元の状態に戻らない可能性も、十分に考えられる、ということだ。

世の中の変化に対応して、自らを変貌させることが、生き残る秘訣なのだろう。

それは、「相場（マーケット）が変化していることに、どのように対応するのか？」といった命題（テーマ）の、ヒントになる、と考えています。

+++++

(2021年02月02日東京時間14:15記述)